

リーディングスキルテスト (30.3.20)

昨日と本日、1・2年生全員がCBT（コンピューターベシックテスト）方式により国立情報学研究所のリーディングスキルテストを受けました。リーディングスキルテストとは、基礎的な読解力を測定するテストです。本校の58%の生徒が卒業と同時に社会生活を始めます。そこで、必要な力が「読む力（新聞やマニュアルや契約書などのドキュメントの趣旨及び意図を迅速かつ正確に読み取ることができる力）」です。その力を高めるために個人の現在の力を測定しました。来年度は、「読みの力・対話の力を向上させる」というテーマを掲げて授業改善に取り組んでいく予定としております。

読む力を高めることが将来にわたる生徒の安全・安心を確保するという信念のもとに。

☆人が文章を「読む」際の11の読解プロセス＜参考資料：国立情報学研究所＞

- ①文節を正しく区切る（例：私は学校に行く⇒私は／学校に／行く）
- ②係り受け構造を認識する（例：美しい水車小屋の乙女⇒美しいのは「乙女」）
- ③述語項構造や接続詞を解析する
（例：「誰が」「何を」「どうした」のような構造を認識する）
- ④照応関係を認識する
（例：ハンカチを落とした。彼はそれを拾った。⇒「それ」は「ハンカチ」である）
- ⑤語レベルのマッピング（未知の用語の意味を実世界の知識に位置付ける）
- ⑥文構造レベルのマッピング（未知の関係や概念の意味を実世界の知識に位置付ける）
- ⑦新知識と常識に基づき推論することで知識を拡張する
- ⑧問題解決のために得られた情報を取捨選択する
- ⑨図や表を読解して推論したり問題解決のための情報を取捨選択する
- ⑩文や文以外の表現が表していることの同一性を認識する
- ⑪各プロセスをコントロールして誤りを訂正する

☆読解のプロセス（大枠）＜参考資料：国立情報学研究所＞

係り受け⇒○照応解析⇒○同義文判定⇒○推論⇒○イメージ同定⇒○具体例同定

